

定例公安委員会の開催状況について

令和4年1月27日（木）に、第3回山形県公安委員会定例会を開催し、議事の概要は次のとおりでした。

1 令和3年中の公文書・個人情報の開示請求及びその決定等の状況について

令和3年中の公文書・個人情報の開示請求及びその決定等の状況について報告があった。

委員のコメント

- 公文書開示請求が多くなるのは、情勢的にやむを得ない。
- 公文書開示請求が増えているが、今後もこの傾向は続くだろう。個人情報の開示請求は、条例の規定に淡々と進めることが大事である。
- 引き続き、適切に対応してほしい。

2 令和3年度警察官・警察行政職の採用募集活動の推進結果等について

令和3年度の警察官・警察行政職の採用募集活動の推進結果及び令和4年度に向けた取組等について報告があった。

委員のコメント

- 競争率が5倍を超えて実施できたことを評価する。歴代の県警関係者が努力してきた成果である。これまで蓄積した財産を、更に良い方向に活用してほしい。女性の辞退者が出なかったことも、県警察の女性活躍推進の姿勢が通じたものと思う。
- コロナ禍での様々な創意工夫が功を奏した。結果が数字に表れている。今後も、会場での対面形式、オンライン形式、テレビ放映など、あらゆる機会、手法を活用して、優秀な人材の募集活動を継続してほしい。
- 女性の採用が計画的に推進されている。引き続き取組を強化してほしい。ITなど、現在の情勢に即した知識や技術を有する人材の発掘、確保にも配慮してほしい。

3 A T M振込制限の適用年齢引き下げについて

還付金詐欺を始めとするA T M振込型特殊詐欺被害を防止するための、金融機関におけるA T M振込制限の適用年齢引き下げについて報告があった。

委員のコメント

- 還付金詐欺などA T M振込型の特殊詐欺被害を防止する上で、大きな効果が期待できる施策である。今後も各金融機関と連携した取組を強化してほしい。
- 時代の情勢に対応した、的確な取組である。

- 先行して同種施策に取り組んでいる他県警で、成果が実績として表れている。本県警察においても、目に見える成果を期待する。年齢引き下げによる問合せなど、窓口での対応に配慮するよう、金融機関に依頼してほしい。

4 交通事故捜査におけるEDR解析情報の活用について

近年車両に搭載されているEDR（事故時車両情報記録装置）解析情報の交通事故捜査における活用について報告があった。

委員のコメント

- 県警察の各部が横断的に連携した取組であり、時代に即した効果的な取組として評価する。活用する場面は今後も増加が予想されるので、アナリストの養成、増員にも配慮願いたい。
- これまでの警察による捜査手法に加え、客観的に証明できるデータとして解析情報を活用することは、交通事故捜査以外にも有用なので、広く活用してほしい。
- 将来的には、全車両への搭載が望ましい装備であり、警察としても有効活用してほしい。

5 令和3年 刑法犯の認知・検挙状況（暫定値）について

令和3年中の刑法犯の認知・検挙状況（暫定値）について報告があった。

委員のコメント

- 2年連続の検挙率全国第1位を評価する。全国的に認知件数が減少している中、結果を残したことは、県民の信頼につながる。この成果を、県民にPRしてほしい。今後は、コロナ禍での補助金詐取を企図する事案の発生が危惧されるので、配慮願いたい。
- 2年連続で検挙率が全国第1位になったことを、県民に強調してPRしてほしい。真摯な姿勢で業務に当たっている多くの警察職員による努力の賜である。県警察の対応を見ていると、事案に対する初動対応が素早いという印象がある。組織全体が誠実に取り組んだ成果である。
- この検挙率は、県民の安全安心を支える肝の部分の数字であり、誇らしい結果である。現場で黙々と仕事に励んでいる多くの警察職員には、この結果を自信として、更なる成果につなげてほしい。今年、さくらんぼ盗難事件の検挙も期待したい。

6 令和3年中の交通指導取締り状況等について

令和3年中の交通指導取締り状況及び令和4年の取組等について報告があった。

委員のコメント

- 各署一律ではなく、それぞれの実態に合った取締りを展開したことは、数字以上に意義のある取組である。可搬式速度違反自動取締装置の活用は、運転者により一層の緊張感を与える効果があった。歩行者保護意識が良くなっているのは、「交通安全ありがとう運動」の成果である。今後も継続した取組を期待する。

- 効果的な取締りが行われている。ドライバーの運転速度が以前より抑制されており、成果として評価できる。今後は、歩行者優先意識の更なる醸成とともに、一時不停止による交通事故対策を進めてほしい。子供たちに安全教育をすることにより、成長して大人になってからの適切な運転マナーの実践につながるので、今後も積極的に推進してほしい。
- 山形県警察の職員が総力を挙げて努力した成果が出ている。今後も、取締りとともに、交通事故の具体的要因を説明しながら県民に広く周知し、安全安心につなげてほしい。交差点付近の除雪について、運転手から歩行者が見えるように、道路管理者と連携した活動を継続してほしい。